



## 小売物価統計調査(構造編) 2020年(令和2年)結果・山梨県

### 目次

1 小売物価統計調査(構造編)の概要	ページ
(1)調査の目的と沿革	1
(2)各調査の概要	1
(3)調査価格	1
(4)結果	1
2 消費者物価地域差指数	
(1)都道府県別の物価水準	2
(2)10大費目別の物価水準	4
(3)地方別の物価水準	5
(4)都市別の物価水準	6
3 店舗形態の違いによる価格差	
(1)スーパーと一般小売店の比較	7
(2)スーパーと量販専門店の比較	9
別表1～3	11-13

山梨県 県民生活部 統計調査課

<問い合わせ先>  
生活教育担当  
電話 :055-223-1345  
FAX :055-223-1347  
E-Mail:toukei@pref.yamanashi.lg.jp  
HP: [http://www.pref.yamanashi.jp/toukei\\_2/](http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/)

# 1 小売物価統計調査(構造編)の概要

## (1)調査の目的と沿革

物価構造については、2007年(平成19年)まで5年ごとに実施されてきた全国物価統計調査により把握してきたが、消費・流通構造の変化が加速する中で、5年周期の統計では物価構造の変化を的確に把握することが困難な状況となってきたことから、全国物価統計調査で把握してきた地域別価格差、店舗形態別価格及び銘柄別価格を毎年把握するための調査を「構造編」として、小売物価統計調査に盛り込み、従前の小売物価統計調査を「動向編」と位置付け、全国物価統計調査を中止することとした。

小売物価統計調査(構造編)は、地域別、店舗の形態別等の物価を明らかにすることを目的とし、地域別価格差調査、店舗形態別価格調査及び銘柄別価格調査の3つの調査の種別を設け、2013年(平成25年)1月から実施している。

## (2)各調査の概要

	1 地域別価格差調査	2 店舗形態別価格調査※2	3 銘柄別価格調査※2
目的	主として都道府県別消費者物価地域差指数を作成	店舗形態別価格表の作成	構造編で独自に指定した銘柄の価格表の作成
調査地域	動向編調査地域(167市町村)以外の91市※ (山梨県は富士吉田市、南アルプス市、甲斐市、笛吹市が対象)	道府県庁所在市46市 (東京都区部除く) (山梨県は甲府市が対象)	東京都区部
調査月	奇数月	偶数月	偶数月
調査品目	56品目(58銘柄) 店舗や地域により価格差が見られるもの、ウエイトの大きいもの等の条件を満たす品目を選定	9品目(9銘柄) スーパー以外でも価格を取集でき、店舗形態別の価格差が見込める代表的な品目を選定	9品目(9銘柄) 今後、動向編の調査銘柄となりそうな銘柄や、まとめ売りなどの販売形態の異なる銘柄が存在する品目から選定

※1 <http://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/pdf/kchosasi.pdf>に掲載

※2 2021年(令和3年)12月の調査を最後に中止する。

## (3)調査価格

調査店舗で消費者に販売している通常価格を調査することとしている。各品目の代表的な価格を調査するという観点から、短期間の特売価格や棚ざらい、在庫一掃セール等の特売価格は調査しない。

## (4)結果

甲府市、市川三郷町他で調査している「動向編」のデータと併せて集計し、年平均を年1回「構造編」として公表している。

例年は7月頃に公表しているが、基準改定年は国の公表に合わせ、10～11月の公表としている。

## 2 消費者物価地域差指数

消費者物価地域差指数…

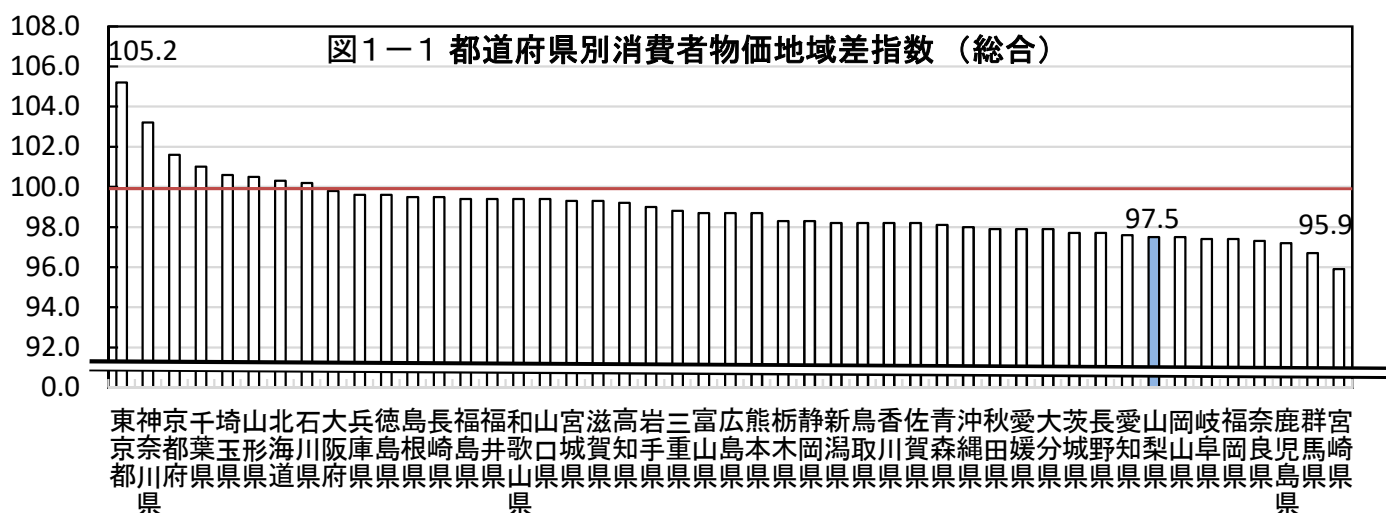
地域間の物価水準の違いをみることを目的として、各地域の物価水準を全国の物価水準を100とした指数値で示したもの。全国平均を基準 (=100) とした指数を、地域別（地方10区分、都道府県、都道府県庁所在市及び政令指定都市）に作成している。

### (1) 都道府県別の物価水準

- ・ 本県(97.5)の2020年平均物価水準は第40位、最も高いのは東京都(105.2)
- ・ 東京都に比べて7.7ポイント※低く、最も低い宮崎県に比べて1.6ポイント高い

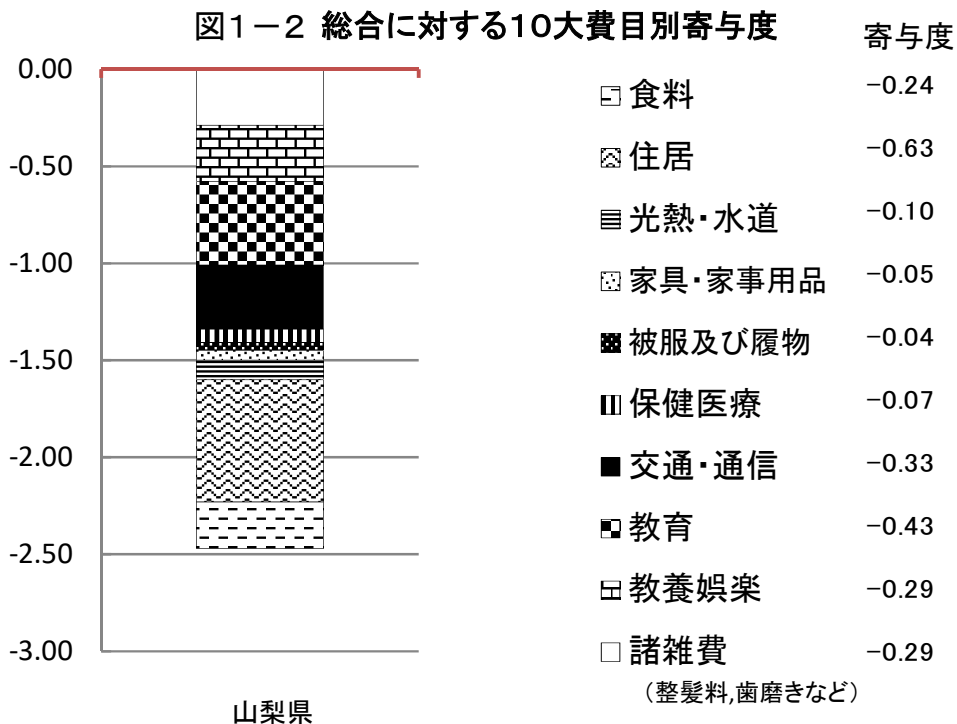
2020年平均消費者物価地域差指数（全国平均=100）の「総合」を都道府県別にみると、東京都(105.2)が最も高く、次いで神奈川県(103.2)、京都府(101.6)となっており、全国平均(=100)以上の都道府県は8都道府県となっている。

一方、最も低いのは宮崎県(95.9)で、次いで群馬県(96.7)となっている。（図1-1）



○本県の総合指数に対する10大費目別寄与度

本県の「総合」が全国平均より低い要因を10大費目別寄与度\*でみると、「住居」(-0.63)が最も寄与しており、次いで、「教育」(-0.43)となる。(図1-2)



※寄与度

物価水準全体(「総合」)に対して、各内訳項目がどれだけ影響したかを示したもの。

この資料においては、ラスパイレス類似算式の指数の寄与度とパーシェ類似算式の指数の寄与度の平均値を近似的な値として用いているので、各内訳項目の寄与度を足し上げても、「総合」の寄与度(「総合」-100)には必ずしも一致しない。

## (2) 10大費目別の物価水準

- ・「住居」は、東京都が本県の1.49倍で、物価水準の差が最大
- ・「保健医療」は東京都が本県の1.03倍で、物価水準の差が最小

10大費目別に、物価水準が最も高い都道府県と本県との比率※をみると、「住居」に次いで「教育」(1.34)、「光熱・水道」(1.18)などで比率が高くなっている。

一方、比率が低いのは、「保健医療」に次いで「家具・家事用品」(1.05)、「食料」(1.06)となっている。

比率について、2019年の結果と比較すると、「総合」においては2019年を0.02ポイント上回っている。10大費目別にみると、「光熱・水道」(-0.03ポイント)と「家具・家事用品」(-0.01ポイント)が2019年の結果を下回っている。

表1-1 最も高い都道府県と山梨県の10大費目別指数による比較

全国平均=100

10大費目	最も高い都道府県		山梨県	比率※ (2020年)	比率※ (2019年)	比率の差
総合	東京都	105.2	97.5	1.08	1.06	0.02
食料	福井県	105.1	99.2	1.06	1.03	0.03
住居	東京都	134.5	90.4	1.49	1.42	0.07
光熱・水道	北海道	116.6	98.8	1.18	1.21	-0.03
家具・家事用品	東京都	103.9	98.8	1.05	1.06	-0.01
被服及び履物	栃木県	110.6	99.1	1.12	1.10	0.02
保健医療	東京都	102.1	98.8	1.03	1.03	0.00
交通・通信	東京都	104.9	98.1	1.07	1.06	0.01
教育	大阪府	118.9	88.6	1.34	1.29	0.05
教養娯楽	東京都	104.9	97.4	1.08	1.07	0.01
諸雑費	滋賀県	104.6	96.1	1.09	1.04	0.05

※ 比率 =  $\frac{\text{最も高い都道府県の指数}}{\text{山梨県の指数}}$

小数第3位四捨五入

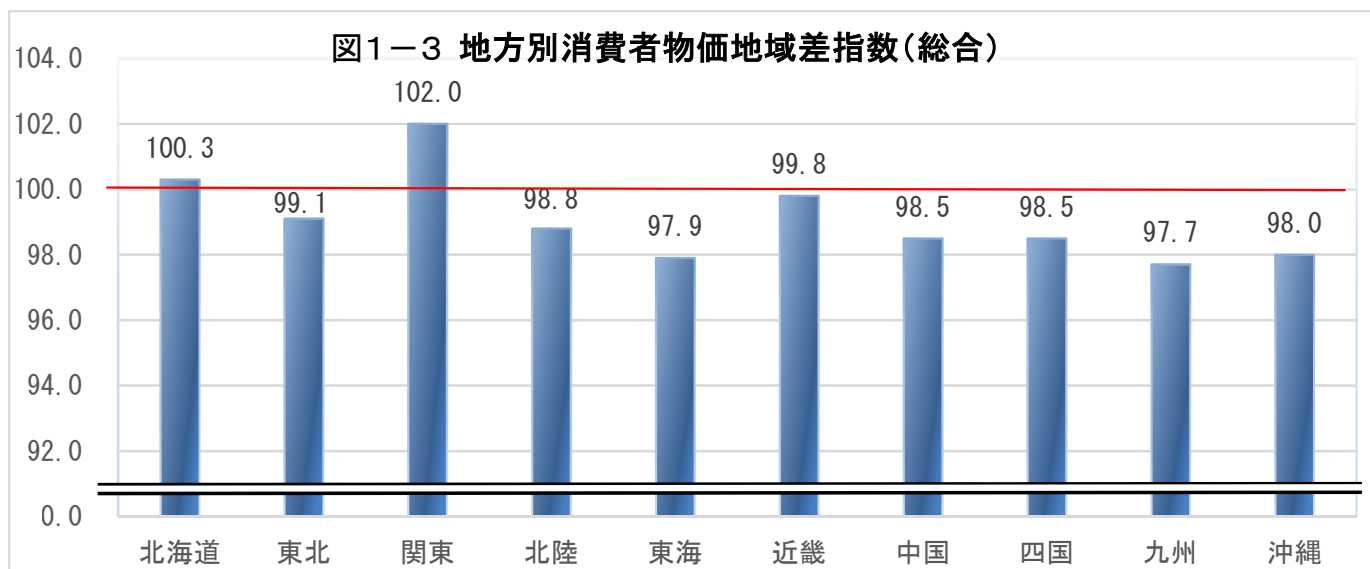
### (3) 地方別の物価水準

- ・物価水準が全国平均（＝100）を超えているのは関東地方と北海道地方
- ・関東地方で「総合」をみると、本県は第8位

地方別に「総合」をみると、本県が含まれている関東地方(102.0)が最も高く、次いで北海道(100.3)となっている。

一方、最も低いのは九州地方(97.7)、次いで東海地方(97.9)となっている。(図1-3)

また、関東地方で「総合」をみると、東京都(105.2)が最も高く、群馬県(96.7)が最も低い。



※ 地方10区分

北海道…北海道

東北 …青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県

関東 …茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 山梨県, 長野県

北陸 …新潟県, 富山県, 石川県, 福井県

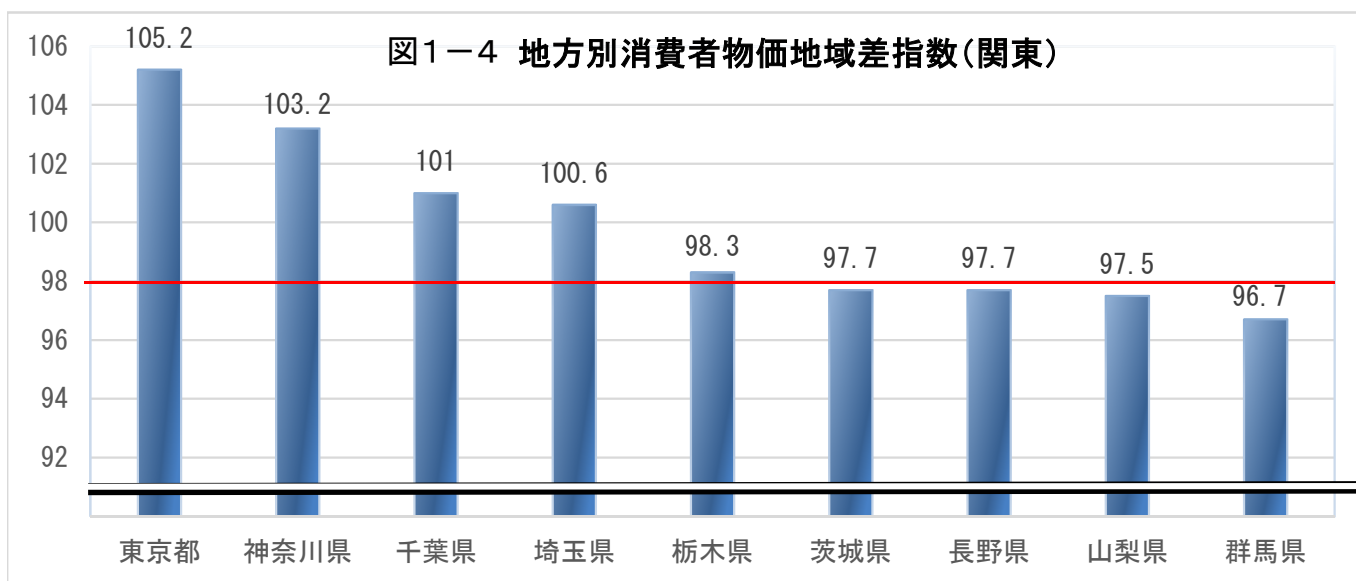
東海 …岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県

近畿 …滋賀県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県

中国 …鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県

四国 …徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県

九州 …福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県

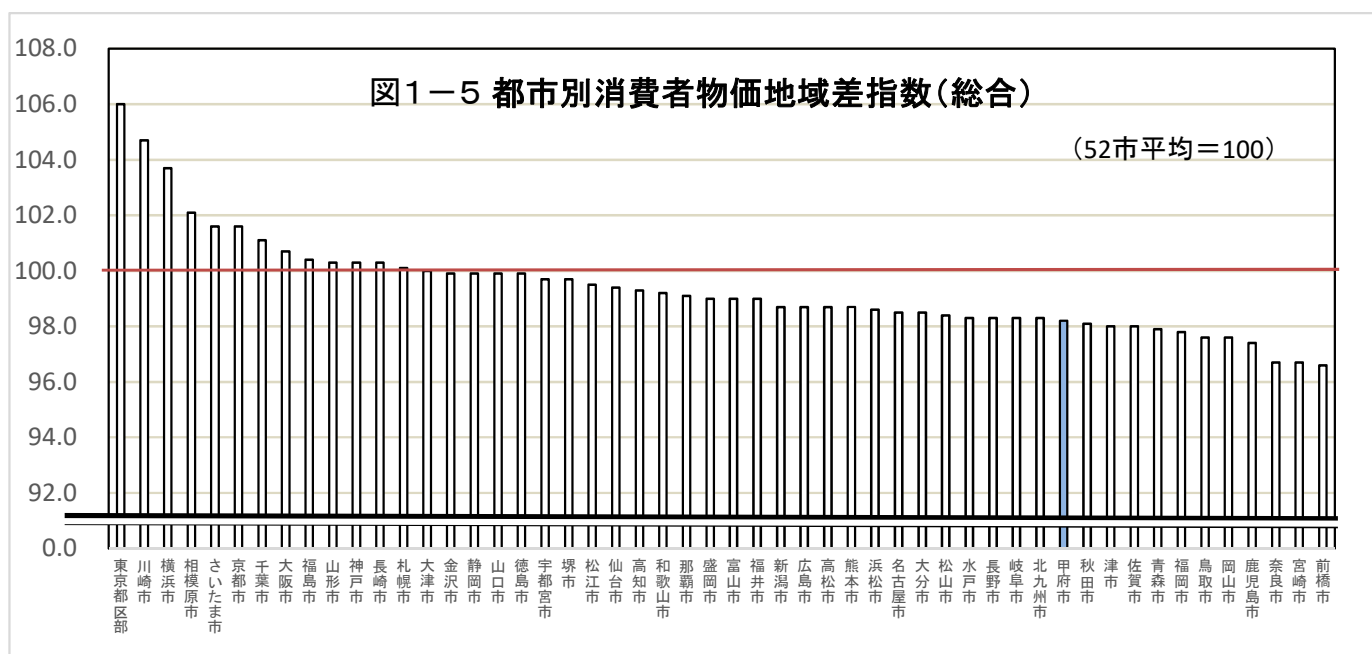


#### (4) 都市別の物価水準

- ・ 甲府市(98.2)は第41位、最も高いのは東京都区部(106.0)。
- ・ 甲府市は、東京都区部に比べて7.8ポイント低い\*。

都市別に「総合」をみると、東京都区部(106.0)が最も高く、次いで川崎市(104.7)、横浜市(103.7)、相模原市(102.1)、さいたま市(101.6)となっている。

一方、最も低いのは前橋市(96.6)で、次いで奈良市と宮崎市(96.7)、鹿児島市(97.4)、鳥取市と岡山市(97.6)となっている。(図1-6)



\*都市とは、都道府県庁所在市（東京都は東京都区部）及び政令指定都市（川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市）を指す。

### 3 店舗形態の違いによる価格差（甲府市）

店舗形態の違いによる価格差を明らかにすることにより、店舗の形態が価格に及ぼす影響をみることを目的とし、調査対象9品目について、スーパーと一般小売店又はスーパーと量販専門店の年平均価格をそれぞれ比較する。

※店舗形態

スーパー：生鮮食品・家事雑貨を中心にセルフサービス方式で販売している店舗

一般小売店：米穀店、精肉店、惣菜店、酒飯店など特定分野の商品を販売している店舗

量販専門店：医薬品・化粧品を中心に販売するドラッグストアや住関連商品を中心に販売するホームセンターなど

#### (1)スーパーと一般小売店の比較

- ・コロッケ、清酒はスーパーの価格が低い
- ・うるち米、豚肉は一般小売店の価格が低い

スーパーと一般小売店の価格差を比較することを目的とした調査4品目（うるち米、豚肉、コロッケ及び清酒）の2020年（令和2年）平均価格をみると、コロッケ、清酒は、スーパーの価格が低く、うるち米、豚肉は一般小売店の価格が低くなっている。（表2-1）

また、スーパーの年平均価格を100として一般小売店の価格水準をみると、豚肉(67.0)が最も水準の差が大きい。

2019年結果と比較すると、豚肉、コロッケ、清酒では価格水準の差が拡大している。

うるち米は、2019年結果においては、スーパーが一般小売店より価格が低かったが、2020年結果においては、一般小売店がスーパーより価格が低くなっている。（表2-1）

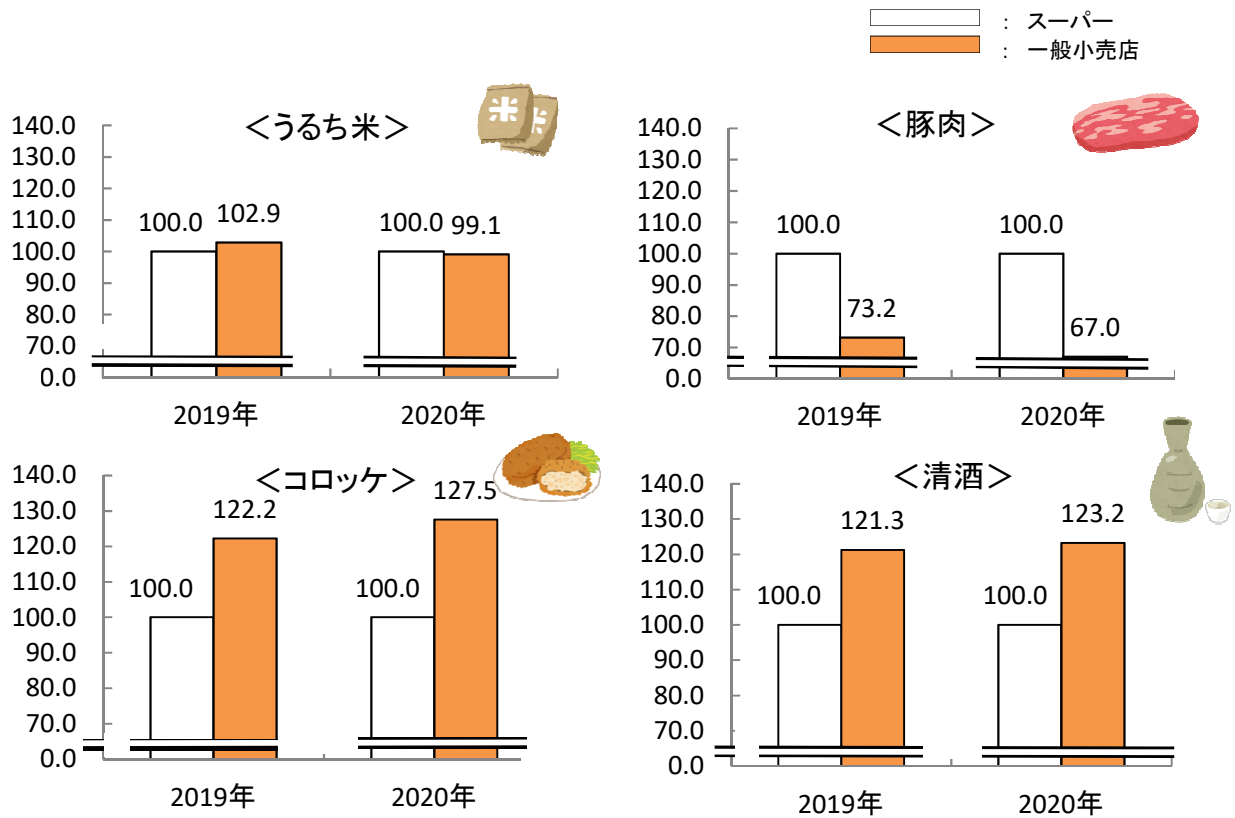




表2-1 調査対象4品目の店舗形態別年平均価格及び価格水準

品目(単位)	店舗形態	2020年		2019年		2019年との比較 (2020年-2019年)	
		年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格=100)	年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格=100)	年平均価 格の变化 (円)	年平均価 格の变化 率(%)
うるち米 (1袋(5kg))	スーパー	2,264	100.0	2,214	100.0	50	2.3
	一般小売店	2,244	99.1	2,278	102.9	-34	-1.5
豚肉(100g)	スーパー	267	100.0	257	100.0	10	3.9
	一般小売店	179	67.0	188	73.2	-9	-4.8
コロッケ(100g)	スーパー	69	100.0	72	100.0	-3	-4.2
	一般小売店	88	127.5	88	122.2	0	0.0
清酒 (1本(2,000ml))	スーパー	995	100.0	1,016	100.0	-21	-2.1
	一般小売店	1,226	123.2	1,232	121.3	-6	-0.5

図2-1 調査対象4品目の店舗形態別価格水準(スーパーの年平均価格=100)



## (2)スーパーと量販専門店の比較

- ・ラップはスーパーの価格が低い
- ・洗濯用洗剤、ドリンク剤、整髪料及び生理用ナプキンは量販専門店の価格が低い

スーパーと量販専門店の価格差を比較することを目的とした調査5品目（ラップ、洗濯用洗剤、ドリンク剤、整髪料、生理用ナプキン）の年平均価格をみると、ラップを除いて量販専門店の価格が低くなっている。（表2-2）

スーパーの年平均価格を100として量販専門店の価格水準をみると、洗濯用洗剤(82.4)が最も水準の差が大きくなっており、次いでドリンク剤(87.3)となっている。

2019年結果と比較すると、洗濯用洗剤と整髪料では価格水準の差が拡大している。ドリンク剤では価格水準の差が縮小している。

ラップは、2019年結果においては量販専門店がスーパーより価格が低かったが、2020年結果においては、スーパーが量販専門店より価格が低くなっている。

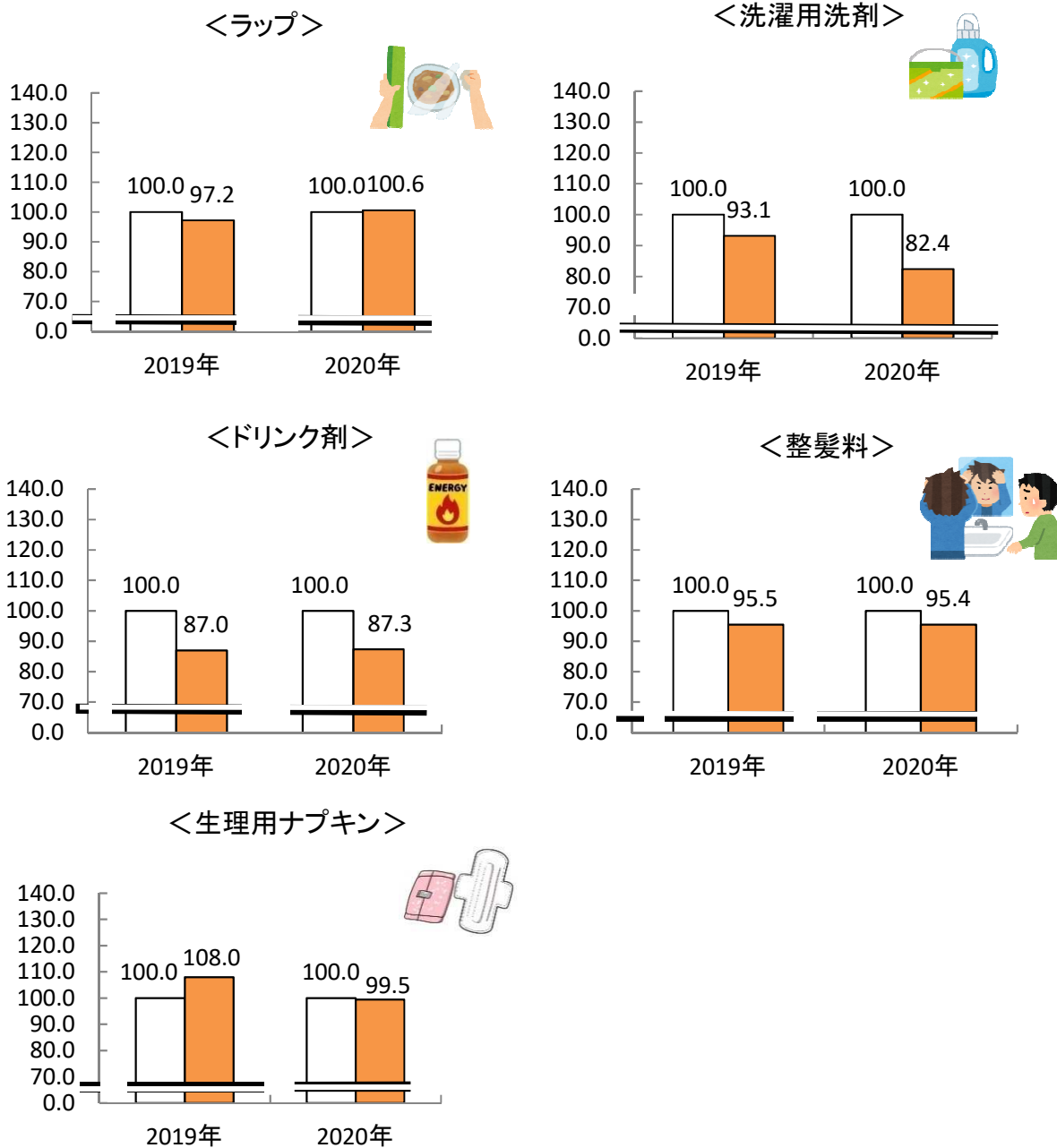
生理用ナプキンは、2019年結果においてはスーパーが量販専門店より価格が低かったが、2020年結果においては量販専門店がスーパーより価格が低かった。

表2-2 調査対象5品目の店舗形態別年平均価格及び価格水準

品目(単位)	店舗形態	2020年		2019年		2019年との比較 (2020年-2019年)	
		年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格=100)	年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格=100)	年平均価 格の変 化 (円)	年平均価 格の変 化 率(%)
ラップ (1本(幅22cmx 長さ50m))	スーパー	317	100.0	322	100.0	-5	-1.6
	量販専門店	319	100.6	313	97.2	6	1.9
洗濯用洗剤 (1kg(液体))	スーパー	341	100.0	319	100.0	22	6.9
	量販専門店	281	82.4	297	93.1	-16	-5.4
ドリンク剤 1箱((100mLx10 本))	スーパー	1,167	100.0	1,161	100.0	6	0.5
	量販専門店	1,019	87.3	1,010	87.0	9	0.9
整髪料 (1個(80g))	スーパー	803	100.0	793	100.0	10	1.3
	量販専門店	766	95.4	757	95.5	9	1.2
生理用ナプキン (昼用, 10枚)	スーパー	187	100.0	175	100.0	12	6.9
	量販専門店	186	99.5	189	108.0	-3	-1.6

図2-2 調査対象5品目の店舗形態別価格水準(スーパーの年平均価格=100)

□ : スーパー  
 ■ : 量販専門店



別表1 10大費目別指数(47都道府県)

都道府県	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
北海道	100.3	100.2	86.1	116.6	100.9	105.2	100.7	99.6	92.7	98.1	100.2
青森県	98.1	98.0	86.4	110.8	99.4	100.4	98.6	99.0	95.6	95.0	94.8
岩手県	99.0	98.3	90.6	111.7	100.2	99.0	100.0	98.9	88.2	99.4	96.7
宮城県	99.3	98.3	96.9	103.5	102.2	98.4	100.8	99.1	95.4	99.0	101.1
秋田県	97.9	97.6	82.1	107.9	102.8	101.1	98.5	98.0	86.1	97.7	99.6
山形県	100.5	102.3	93.2	112.2	97.2	95.9	97.1	99.9	104.0	97.4	97.1
福島県	99.4	99.9	90.8	110.2	101.7	102.8	98.9	99.0	92.0	94.2	101.4
茨城県	97.7	97.4	91.2	105.7	93.7	103.2	97.5	96.9	90.3	97.0	102.0
栃木県	98.3	98.4	87.2	99.0	103.2	110.6	99.3	98.5	97.8	96.5	98.7
群馬県	96.7	96.8	89.0	101.4	97.8	101.1	99.5	97.8	82.2	97.4	97.0
埼玉県	100.6	99.6	105.0	94.5	102.3	102.2	100.2	100.9	96.5	104.2	102.6
千葉県	101.0	100.9	111.4	100.9	101.2	97.7	99.9	99.1	95.7	102.8	100.3
東京都	105.2	103.4	134.5	94.7	103.9	102.1	102.1	104.9	110.2	104.9	101.5
神奈川県	103.2	101.6	116.5	96.8	100.1	100.2	101.7	103.3	110.2	104.6	104.4
新潟県	98.2	99.7	87.2	100.5	97.2	101.3	99.6	98.7	90.2	98.8	98.9
富山県	98.7	101.0	93.7	102.1	99.2	100.4	101.8	97.6	82.9	95.2	100.5
石川県	100.2	103.5	83.9	103.0	99.8	107.2	100.8	98.3	103.1	97.3	100.7
福井県	99.4	105.1	85.9	96.5	103.2	100.3	100.0	99.5	101.8	93.6	97.5
山梨県	97.5	99.2	90.4	98.8	98.8	99.1	98.8	98.1	88.6	97.4	96.1
長野県	97.7	95.7	91.5	103.9	97.4	104.9	98.4	100.4	85.8	97.2	99.5
岐阜県	97.4	98.9	83.8	94.9	94.2	98.4	98.9	100.6	92.0	98.2	99.7
静岡県	98.3	99.1	96.9	98.0	103.0	97.3	100.4	99.0	83.4	99.5	96.9
愛知県	97.6	97.8	95.0	93.5	97.2	97.2	99.9	97.0	98.3	99.8	99.4
三重県	98.8	100.2	94.9	98.6	100.2	98.6	99.0	99.7	96.0	95.9	99.6
滋賀県	99.3	98.4	91.9	98.3	101.2	99.5	100.3	100.5	111.7	97.0	104.6
京都府	101.6	100.9	101.1	100.5	97.9	100.4	97.9	102.2	118.2	101.0	103.6
大阪府	99.8	99.6	96.7	93.7	99.2	98.2	99.0	100.8	118.9	101.6	99.0
兵庫県	99.6	99.5	96.2	93.3	103.7	100.2	98.6	100.6	105.4	100.1	102.2
奈良県	97.3	96.1	85.8	100.5	99.5	98.3	98.9	100.4	96.1	98.6	98.2
和歌山県	99.4	100.0	90.7	99.9	98.0	101.7	101.4	101.0	111.8	95.2	99.2
鳥取県	98.2	101.4	82.0	107.4	100.4	104.3	99.3	97.1	91.7	93.4	97.6
島根県	99.5	102.1	88.5	112.1	98.8	96.2	99.2	98.9	95.2	95.7	97.9
岡山県	97.5	99.9	83.7	105.8	95.9	98.7	101.4	96.2	88.1	96.7	99.0
広島県	98.7	100.8	91.9	104.2	94.3	94.8	100.2	99.6	101.2	95.6	95.8
山口県	99.4	101.9	93.3	109.2	97.2	101.3	101.0	97.5	86.1	96.0	99.4
徳島県	99.6	101.6	93.0	104.5	101.5	104.2	98.6	97.2	95.6	97.3	99.2
香川県	98.2	100.6	82.5	105.5	101.9	89.5	98.4	99.1	93.6	95.7	103.0
愛媛県	97.9	100.8	83.4	106.6	100.1	98.1	100.3	97.5	86.6	96.6	96.6
高知県	99.2	100.9	93.8	103.6	100.3	99.4	101.4	98.9	89.2	95.8	100.2
福岡県	97.4	96.8	90.0	104.6	98.7	96.4	99.0	98.2	92.6	98.1	99.2
佐賀県	98.2	98.2	87.9	111.3	98.5	106.8	100.3	98.7	93.3	93.5	97.2
長崎県	99.5	99.5	92.2	112.0	100.7	107.5	100.4	100.4	87.9	95.3	96.6
熊本県	98.7	100.8	91.0	101.3	98.5	95.4	101.8	99.5	90.4	96.8	99.4
大分県	97.9	99.3	86.0	105.0	99.4	96.2	97.2	98.4	106.1	96.9	93.5
宮崎県	95.9	96.0	88.1	102.3	99.3	97.1	96.1	98.5	93.7	92.5	93.1
鹿児島県	97.2	99.9	86.4	100.2	98.4	93.7	98.8	99.0	99.9	92.3	94.6
沖縄県	98.0	103.3	86.2	102.2	95.0	99.0	98.9	99.1	93.2	97.1	90.1
										全国平均=100	

別表2 2020年結果と2019年結果の比較(総合)

都道府県	2020年		2019年		順位変動 [2019年－2020年]
	指数	順位	指数	順位	
北海道	100.3	7	99.9	10	3
青森県	98.1	32	98.4	30	-2
岩手県	99.0	21	99.1	20	-1
宮城県	99.3	18	99.3	17	-1
秋田県	97.9	34	98.4	30	-4
山形県	100.5	6	100.2	7	1
福島県	99.4	14	99.6	14	0
茨城県	97.7	37	98.1	35	-2
栃木県	98.3	26	98.2	34	8
群馬県	96.7	46	96.6	45	-1
埼玉県	100.6	5	101.0	3	-2
千葉県	101.0	4	100.7	4	0
東京都	105.2	1	104.7	1	0
神奈川県	103.2	2	104.0	2	0
新潟県	98.2	28	98.7	23	-5
富山県	98.7	23	98.6	27	4
石川県	100.2	8	100.2	7	-1
福井県	99.4	14	99.3	17	3
山梨県	97.5	40	98.7	23	-17
長野県	97.7	37	97.7	37	0
岐阜県	97.4	42	97.3	43	1
静岡県	98.3	26	98.5	29	3
愛知県	97.6	39	97.6	39	0
三重県	98.8	22	98.7	23	1
滋賀県	99.3	18	99.5	15	-3
京都府	101.6	3	100.6	5	2
大阪府	99.8	9	99.7	13	4
兵庫県	99.6	10	100.3	6	-4
奈良県	97.3	44	97.5	41	-3
和歌山県	99.4	14	99.2	19	5
鳥取県	98.2	28	98.6	27	-1
島根県	99.5	12	99.5	15	3
岡山県	97.5	40	97.6	39	-1
広島県	98.7	23	99.0	21	-2
山口県	99.4	14	98.7	23	9
徳島県	99.6	10	100.1	9	-1
香川県	98.2	28	98.3	33	5
愛媛県	97.9	34	97.9	36	2
高知県	99.2	20	99.8	11	-9
福岡県	97.4	42	96.8	44	2
佐賀県	98.2	28	97.5	41	13
長崎県	99.5	12	99.8	11	-1
熊本県	98.7	23	98.8	22	-1
大分県	97.9	34	97.7	37	3
宮崎県	95.9	47	96.0	47	0
鹿児島県	97.2	45	96.3	46	1
沖縄県	98.0	33	98.4	30	-3

別表3 2020年平均消費者物価地域差数  
都道府県庁所在市及び政令指定都市別順位

(52市平均=100)

順位	地域	総合
1	東京都区部	106.0
2	川崎市	104.7
3	横浜市	103.7
4	相模原市	102.1
5	さいたま市	101.6
5	京都市	101.6
7	千葉市	101.1
8	大阪市	100.7
9	福島市	100.4
10	山形市	100.3
10	神戸市	100.3
10	長崎市	100.3
13	札幌市	100.1
14	大津市	100.0
15	金沢市	99.9
15	静岡市	99.9
15	山口市	99.9
15	徳島市	99.9
19	宇都宮市	99.7
19	堺市	99.7
21	松江市	99.5
22	仙台市	99.4
23	高知市	99.3
24	和歌山市	99.2
25	那覇市	99.1
26	盛岡市	99.0
26	富山市	99.0
26	福井市	99.0
29	新潟市	98.7
29	広島市	98.7
29	高松市	98.7
29	熊本市	98.7
33	浜松市	98.6
34	名古屋市	98.5
34	大分市	98.5
36	松山市	98.4
37	水戸市	98.3
37	長野市	98.3
37	岐阜市	98.3
37	北九州市	98.3
41	<b>甲府市</b>	<b>98.2</b>
42	秋田市	98.1
43	津市	98.0
43	佐賀市	98.0
45	青森市	97.9
46	福岡市	97.8
47	鳥取市	97.6
47	岡山市	97.6
49	鹿児島市	97.4
50	奈良市	96.7
50	宮崎市	96.7
52	前橋市	96.6

順位	地域	家賃を除く総合
1	東京都区部	103.7
2	横浜市	103.1
2	川崎市	103.1
4	相模原市	101.7
5	さいたま市	101.4
5	京都市	101.4
7	千葉市	101.2
8	山形市	101.0
8	徳島市	101.0
10	札幌市	100.7
10	福島市	100.7
10	長崎市	100.7
13	金沢市	100.6
13	山口市	100.6
15	大阪市	100.2
15	神戸市	100.2
17	宇都宮市	100.1
17	大津市	100.1
17	和歌山市	100.1
17	松江市	100.1
21	堺市	99.9
22	高知市	99.8
22	那覇市	99.8
24	福井市	99.7
24	高松市	99.7
24	大分市	99.7
27	静岡市	99.6
28	仙台市	99.5
28	熊本市	99.5
30	盛岡市	99.4
30	富山市	99.4
32	松山市	99.2
33	新潟市	99.0
33	広島市	99.0
33	浜松市	99.0
36	長野市	98.9
36	岐阜市	98.9
36	北九州市	98.9
39	青森市	98.8
39	<b>甲府市</b>	<b>98.8</b>
41	水戸市	98.7
42	鳥取市	98.6
42	佐賀市	98.6
44	名古屋市	98.5
44	福岡市	98.5
46	秋田市	98.4
46	津市	98.4
48	岡山市	98.1
49	鹿児島市	98.0
50	宮崎市	97.6
51	前橋市	97.2
51	奈良市	97.2

順位	地域	食料
1	福井市	104.2
1	那覇市	104.2
3	徳島市	104.1
4	金沢市	103.4
5	東京都区部	103.2
6	千葉市	102.7
6	松江市	102.7
8	富山市	102.5
9	福島市	102.3
10	山口市	102.2
11	横浜市	102.0
11	相模原市	102.0
13	川崎市	101.8
14	山形市	101.7
15	京都市	101.2
15	高松市	101.2
15	高知市	101.2
18	新潟市	100.8
18	松山市	100.8
20	札幌市	100.7
20	鳥取市	100.7
22	大阪市	100.6
22	岡山市	100.6
22	鹿児島市	100.6
25	大分市	100.5
26	和歌山市	100.4
27	静岡市	100.3
27	広島市	100.3
29	宇都宮市	100.2
29	さいたま市	100.2
31	<b>甲府市</b>	<b>100.0</b>
31	岐阜市	100.0
31	長崎市	100.0
31	熊本市	100.0
35	神戸市	99.7
35	浜松市	99.7
37	盛岡市	99.5
38	堺市	99.4
39	青森市	99.3
40	津市	99.2
41	大津市	99.1
42	宮崎市	99.0
42	北九州市	99.0
44	仙台市	98.7
45	秋田市	98.3
45	名古屋市	98.3
47	佐賀市	97.7
48	前橋市	97.1
49	水戸市	96.6
50	福岡市	96.4
51	長野市	95.8
52	奈良市	95.1